

(様式3)

事業所名 グループホーム水沢の里

目標達成計画

作成日: 平成30年1月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 25 | 職員の気付きや情報をお互いに検討する場を設けて再アセスメントに活かす場が少ない。 また、介護計画に基づくモニタリングに活用できる記録の仕方を工夫しチームで介護計画を作成する仕組みを再検討する必要がある。 | 1、記録を整理し、職員の気付きを再アセスメントに活かす場を増やす。 2、介護計画をチームで作成する仕組みを構築する。 | ・ケース記録の内容や書き方を介護計画の目標に沿って記入する。 ・モニタリングや再アセスメントをスタッフにも協力していただき、情報を共有する。そのことで介護計画に沿ってケアをしている意識を向上させていく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 33 | 避難口になる出入り口の一つに段差があるため、車椅子や歩行困難者が避難する具体的方法が確立されていない。また夜間想定でスタッフ一人のときに対応できるような体制が整っていない。 | 段差のある方の出入り口からの避難方法や夜間の避難方法を確立し、職員全員で共有する。 | 効率よく(かつ安全に)に避難できる方法を実際にスタッフが利用者役となって実施し、具体的な対応を考える。 | 7ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。